

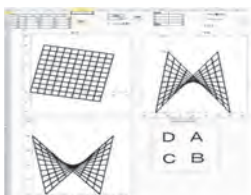




竹材を活用した各種イベント等用の仮設空間の開発 竹林の荒廃対策を目的とするテント等の構造物の開発支援

技術分野分類 7702：環境農学

技術キーワード 都市公園、造園、景観形成・保全、自然環境保全・自然再生

産業分類 D-06：総合工事業

内 容	概 要	近年問題となっている竹林の荒廃対策を主な目的とし、先ずはモニュメント的な工作物や公園を始めとする公共空間における構造物（休憩スペース、展示・商業用空間）等への適用を踏まえた、自由度が高く、デザイン性にも優れた空間を開発・設計の支援を実施する。基本技術は開発中のものを援用予定である。		
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	従来の同様の試みの殆どは、竹に曲げを与えて曲面を構成しており、製作が困難で、規模も限定され、常時無理な力が作用するため応用が限定されている。これに対し、本開発技術によれば、双曲法物面を組み合わせることによる自由度の高い曲面作成技術を用いたソフト（開発済）と(a)、特許出願予定の接合部により(b)、自由度の高い設計が可能である(c)。		
	本技術の有用性	形状・規模の自由度が高いことと、膜材を組み合わせることにより現実的で訴求性のあるデザインに対応可能である。なお、設計時には3次元のVRにて立体的なモンタージュが可能である。環境教育の一助にもなると考えられる。		
関連情報 (図・表・写真等)				
適用可能製品		公園等の休憩スペース、屋外展示等のスペース、 環境共生教育等のモニュメント等、		
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	武藤 厚（むとう あつし） 名城大学理工学部 建築学科 教授		
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名城大学 学術研究支援センター 052-838-2036 / 052-833-7200 sangaku@ccml.meijo-u.ac.jp		

■知的財産

■試作品状況

無



提供可

作成日 2013年11月11日